

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日: 2022年3月18日

<p>テーマ名</p>	<p>『ITCプロセスガイドライン』を道内中小企業に適用する場合に、どのようなギャップがあるのか?』の研究・調査</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>ITC札幌有限責任事業組合</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p>http://www.itc-sapporo.jp/ (ワーキング公開先URL)https://www.itc-sapporo.jp/download/2021work/</p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名)佐々木身智子 電話番号:090-7658-9641 e-mail:sasaki@itc-sapporo.jp</p>	<p>(担当者氏名)風間 孝啓 電話番号:090-9528-1832 e-mail:kazama@itc-sapporo.jp</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>『ITCプロセスガイドライン』の活用は、経営変革を進める上で経営者の「気づき」や「モチベーションアップ」に繋がるものである。また、「IT経営認識領域」における「変革認識プロセス」、「変革マネジメントプロセス」、「持続的成長認識マネジメントプロセス」は、企業の経営変革やIT活用を支援する上で重要なプロセスである。しかしながら、道内の中小企業には小規模事業者が多く、経営戦略策定や推進、IT化に関する専任者を置くことができず、経営戦略策定プロセスをスキップするなど、「同ガイドライン」に準拠した取り組みを行うケースは少ない。</p> <p>そこで、そのような中小企業向けに、「ITCプロセスガイドライン」の簡易版を作成し、ITコーディネータが提供するサービスレベルを高めることが重要と考えた。</p> <p><活動目標> 今年度は、「ITCプロセスガイドライン」を北海道内の小規模事業者や中小企業に適用する場合のギャップ(課題)の抽出及び整理を行い、その成果に基づき、次年度に「ITCミニプロセスガイドライン(中小企業、小規模事業者版)」を策定する。</p> <p><活動概要> (1)最新版IT経営推進プロセスガイドライン(Ver.3.1)の調査 当組合では、ITコーディネータ制度が誕生した頃に資格を取得したメンバーが多く、旧バージョンのITCプロセスガイドラインしか持っていない者が多かったため、最初に「プロセスガイドラインの読み込み」が必要であると考え、各メンバーへ最新版(Ver.3.1)の購入を促し、全員でIT経営プロセスの進め方・基本原則・概要の確認を行った。</p> <p>(2)支援プロセス・提示資料・成果物を整理 次に、北海道内で中小企業のIT化を支援する場合に、IT経営推進プロセスガイドラインの中のどのプロセスが必須なのかを整理しようと考えた。しかし、『ITコーディネータとして支援活動を行うにあたり何か前提が無いと簡単にはITCプロセスをスキップできないのではないか?』との意見があった。そこで、当組合が昨年春に作成したパンフレット(3つの支援コースを紹介)の中から「時計台コース(3コマ程度の短期間支援)」を前提に、中小企業のホームページ作成支援を行う場合のプロセスを整理^{*1}した。</p> <p>*1)各プロセスを「必須プロセス」、「必要があれば実施するプロセス」に分けた また、事務局がサンプル(たたき台)を作成し、それに他のメンバーが意見を出し合う形で検討を加え、各メンバーから、初回診断並びに1・2・3日目に「実施する支援内容(プロセス)、支援先へ提示する資料、成果物」を検討・提出して貰った。</p> <p>その後、一旦ITCプロセスから離れ、ホームページ作成支援以外で「XXXシステム導入支援」を前提に、各メンバーから支援プロセスを提出して貰ったところ、3コマ程度の短期間での支援の場合、実施する支援内容に大きな差が無いことが分かった。</p> <p>(3)最終成果物を作成 各メンバーから提出された支援プロセス(実施する支援プロセス、支援先へ提示する資料及び成果物)を一つにまとめ、本年3月1日に最終成果物について意見交換を行った。その結果、作成した成果物には中小企業の経営者が見ても理解できない用語はあるが、研究開発の途中であり、次年度、他に「3カ月程度の業務改善コンサルティング」の場合の支援プロセスを開発する際に、分かり易い資料を作成することにした。</p> <p>最後に、今年度の成果物である「短期間(3回程度の訪問)で支援する場合のITCプロセス事例」(第1版)を本年3月18日に当組合のホームページ上で公開した。</p>	
<p>成果物</p>	<p>(1)短期間(3回程度の訪問)で支援する場合のITCプロセス事例(第1版)</p>	

* 青字は事務局で記入します。

<p>事務局受付日</p>	<p>2022/3/21</p>
<p>案件番号</p>	<p>S21001</p>